学校番号	1009

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代の国語」　（第一学習社）						
副教材等	新版　意味から学ぶ　頻出漢字 3000（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・論理的に思考する力や自分の考えや思いを他者に伝える力を身につけてください。
・話し合いや論述を通じて、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の楽しさを身につけてください。
・授業を通じて、言語を学ぶことや読書をすることの意義を考えてください。
・予習・復習の課題を出します。必ず提出しましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。定期テストは学習計画を立てて臨むようにしてください。

2　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識と技能を身につける。
・他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の考えや思いを広げることができる。
・言葉が持つ価値の認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めようとしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、わが国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	・人は言葉で社会をつくり、言葉によって生きているということについて考える。 ・言葉の役割や働きについて考える。 ［教材］ 『言葉のなかに生まれる』 長田弘 「言葉で生きていく」	a:言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[書]:「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c:人は言葉で社会をつくり、言葉によって生きているということについて考えを深め、自分の考えを書こうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	・叙述を的確にとらえる。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 ［教材］ 『水の東西』 山崎正和	a:比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c:積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしてい	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	・話し言葉の特徴を理解する。 ・聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝える。 ［教材］ 「伝わるように話す」	a:話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 b[話/聞]:「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 c:口頭での説明をとおして、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	・主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 ・演繹、帰納に着目して、文章の論理をとらえる。 ［教材］ 『動的平衡としての生物多様性』 福岡伸一	a:主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 b[読]:「読むこと」において、本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 c:論理的な文章を読むことをとおして、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	・資料から情報を正確に読み取る。 ・資料と文章の関係に注意し、文章の意図を読み取る。 ［教材］ 『「安くておいしい国」の限界』 小熊英二	a:文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 b[読]:「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c:積極的に来場者役や評価者を務めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

2	・さまざまな表現の工夫を知り、自らの表現に活かす。 ・読み手の興味を引くように、表現を工夫して書く。 ［教材］ 「興味を引く紹介文を書く」	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使おうとしている。 b[書]:「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c:積極的に、学習課題に沿って表現の工夫をしたり、話したり聞いたりする活動を行い適切な評価を行おうとする。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 ［教材］ 『本当の会話がSNSでできるか』 山極寿一 『自分の情緒を押し殺さないために』 谷川嘉浩	a:個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[読]:「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c:複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	・聞き手の心を動かす話し方を工夫する。 ・資料にもとづいて、効果的に発表する。 ［教材］ 「資料を用いて発表する」	a:話し言葉の特徴や役割をふまえ、わかりやすさ、適切さ、親しさなどに配慮した言葉遣いで話している。 b[話/聞]:「話すこと聞くこと」において、聞き手の行動の変容を促すために、相手の反応を予想しながら、話の展開や構成を工夫して伝えている。 c:熱意をもって自分の考えを伝えるために、話の展開や構成を工夫したり、効果的に資料を用いたりしようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	・文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。 ［教材］ 『贅沢を取り戻す』 國分功一郎	a:情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 b[読]:「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c:情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	・文章の種類をふまえて、叙述をもとに内容を的確にとらえる。 ［教材］ 『感じる歴史』 久野愛	a:情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 b[読]:「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c:情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

3	・目的に即して、文章から必要な情報を読み取る。 ・読み取った情報を活用する。 ［教材］ 『白』 原研哉	a:主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。 b[読]:「読むこと」において、「読むこと」において、目的に応じて文中の情報を関連づけながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 c:積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	・異なる意見をもつ人同士が結論を出すための話し合いの工夫について理解を深める。 ・結論の出し方を工夫して話し合う。 ［教材］ 「論点を共有して話し合う」	a:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[話/聞]:「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。 c:結論を出すための話し合いの工夫について理解し、その後の学習活動や学校生活に生かそうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	・適切な情報を集め、問いを立てる。 ・調べたことをふまえて、課題をとらえ直しながらレポートを書く。 ［教材］ 「課題をとらえ直しながらレポートを書く」	a:文、話、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 b[書]:「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c:レポートを書くことをとおして、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	・日本語の会話について、新たな考え方を持つとともに、自分で調べたい課題を見出す。 ［教材］ 『対話と共話』 ドミニク・チェン	a:主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。 b[読]:「読むこと」において、目的に応じて文中の情報を関連づけながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 c:積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間